

～改善を進めるための学問～

IEって？

安全で、楽に・安く・早く・良いものだけを造り続ける

①、改善の発想技術

ヤメル・カエル・へらす

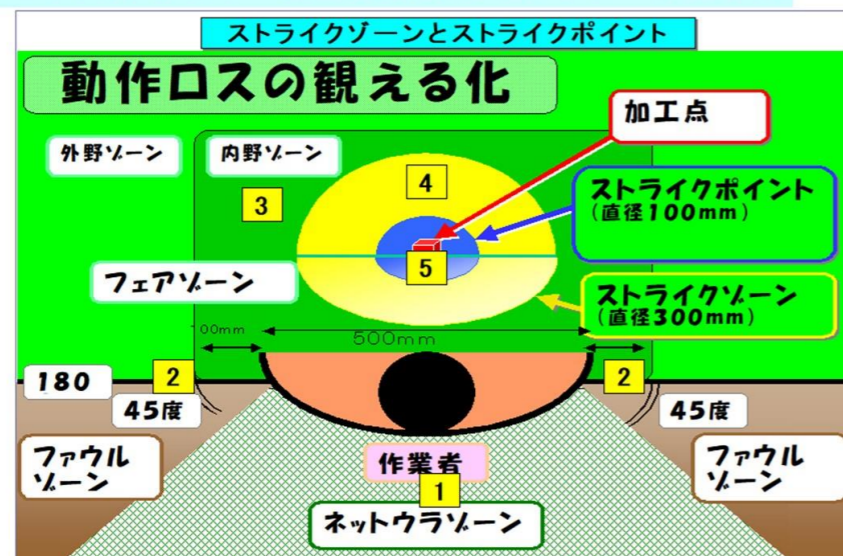
・ 3ム ムリ ムダ ムラ をなくす

・ 4定 定位置 定品 定量 定姿
 (どこに) (何を) (どのくらい) (どの向き)

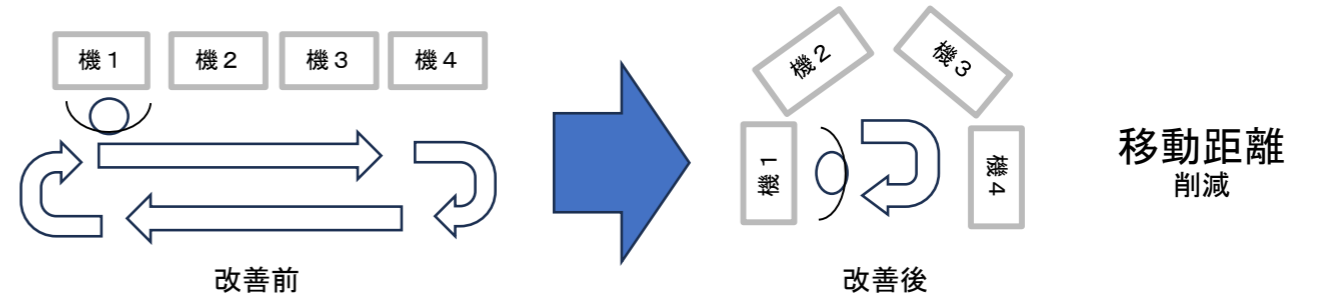
・ 5S 整理 整頓 清掃 清潔 しつけ

②、ストライクポイント（動作分析）

着眼点 “ストライクポイントへ部品を供給する”というイメージ図です。



③、レイアウト変更例（動作分析）

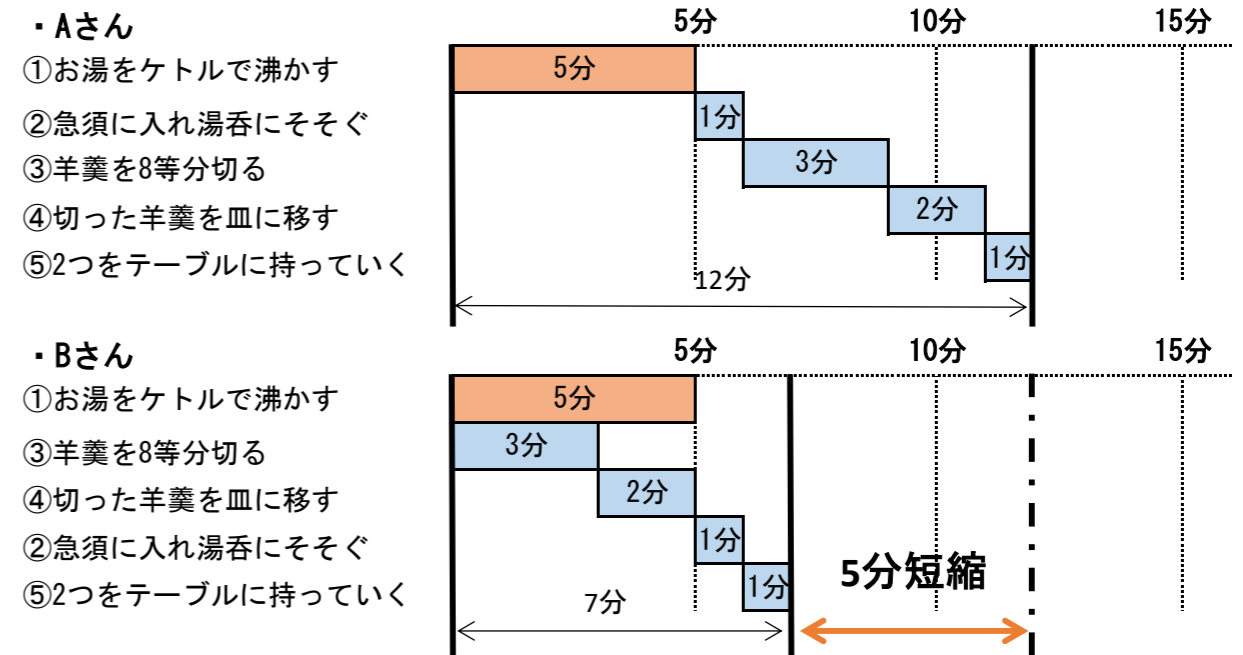


改善のポイント4選

- ① 動作の数を減らす
- ② 両手は同時に使う
- ③ 移動距離を短縮する
- ④ 動作を楽にする

④、マン・マシンチャートの活用（時間分析）

下の図は、お茶を入れてお菓子を用意するという行動を図にしたものです。どちらも、同じ行為ですがかかる時間に違いがあります。



個人作業（1人で制作）

製作数： 1 個

所要時間： 秒

出来ばえ（○良い △普通 ×不十分）： _____ 自己評価でOK!!

・改善（工夫）できそうな点： _____